

「これであんしん！危機に強く安心安全な南丹地域」プラン

1 重点事業

(1) 南丹広域振興局が企画・検討・実施している事業

事業	体系区分	概要	実施主体	実施年度
◆ワイワイがやがや南丹危機管理支援事業 ＜既存施策との相乗効果事業＞	1-①	○地域自らがさまざまな危機に関する課題解決に向けて行うワークショップ（参加型学習会・研修会）等の活動を支援する。	京都府 ※市町と連携	H17～
◆「南丹セーフティキッズ」認定事業 ＜他に先駆けたモデル事業＞	1-①	○防災に関する講習や訓練を修了した子どもを「南丹セーフティキッズ」に認定し、子どもを中心とした安心安全な地域づくり活動の活性化を支援する。	京都府 ※市町、消防と連携	H19～
◆高齢者あんしんコーディネーター事業				
高齢者安否まかせて防災支援プラン ＜他に先駆けたモデル事業＞	1-①	○災害時の要援護高齢者の安否確認や連絡について、関係者（機関）の協働により迅速に行える仕組みをつくり、運用する。	京都府 市町等	H17～
介護施設等一時避難協定プラン ＜他に先駆けたモデル事業＞	1-①	○避難時に要援護高齢者が適切な介護を受けられるような仕組みを関係者（機関）と協働してつくり、運用する。	京都府 市町等	H17～
◆南丹のあんしんをつなぐ「地域パートナー」事業				
地域パートナーあんしん交流プラン ＜最先端を走るパイロット事業＞	1-①	○地域単位で災害時に支援を行う共助の仕組みをつくり、災害に強い地域づくりを支援する。	京都府 ※市町と連携	H18～
南丹災害ボランティアリーダー等養成プラン ＜他に先駆けたモデル事業＞	1-①	○災害時に大きな力となるボランティアの活動が円滑に進むよう支援を行う。	京都府 ※市町と連携	H17～
「なんたんあんしん見守り隊」プラン ＜他に先駆けたモデル事業＞	1-①	○子供たちの安全を地域ぐるみで守るための取組を支援する。	京都府 ※市町、学校警察と連携	H17

注) 事業概要や実施主体は検討段階のものを含み、今後具体化する中で変更の可能性があります。

(2) 主要な京都府事業

事業	概要
◆防犯まちづくり推進事業費	○子ども見守り隊活動等地域課題に対応した地域防犯活動に対する支援
◆地域防災力充実事業費	○消防団等の資機材整備及び消防団員激励事業等に対する助成等
◆犯罪被害者等支援活動推進費	○犯罪被害者等に対する支援の充実
◆小児救急医療体制整備事業費	○小児救急医療電話相談事業の実施 ○2次医療圏を単位とする小児救急の受入体制整備に対する助成等
◆「高齢者見守り隊」事業費	○府社協、市町村社協、NPO、地域住民等による「地域を支える新たな仕組みづくり」の実践

◆自殺対策推進事業費	○自殺予防等のための「こころの健康専門相談窓口」の設置等
◆救急医療対策費	○府内の救急医療体制の確保に要する経費
◆農林水産部関係災害復旧事業費	○耕地や林道等の災害復旧事業費
◆地域防災対策事業費	○地域の防災力の充実に目的とした防災施設等の整備
◆住宅耐震化支援事業費	○民間住宅の耐震診断事業への助成
◆木造住宅耐震改修助成事業費	○木造住宅の耐震改修工事等への助成
◆総合的治水対策推進費	○府管理河川における避難判断水位（特別警戒水位）の設定及び量水板の設置
◆洪水ハザードマップ作成事業費補助金	○浸水想定区域内の住民に洪水予報等の伝達方法・避難場所などの必要な情報を提供する洪水ハザードマップを作成する市町村に対する助成
◆府立施設耐震強化対策費	○府立施設の耐震補強工事等の実施
◆地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費	○スクールガードとの連携の推進、スクールガード・リーダーによる各地域への巡回指導等、地域ぐるみの安全防犯体制の整備
◆交番・駐在所整備費	○交番、駐在所の整備推進
◆交番機能強化費	○「子ども・地域安全見守り隊」など地域住民との協働を進め、交番の犯罪防止・予防機能を強化するため、交番相談員を配置
◆交通安全施設整備費	○交通安全施設の整備
◆警察施設耐震強化対策費	○警察施設の耐震改修工事等

2 主な取組実績

<2005（平成17）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】安心安全な地域づくり		
「これで安心！なんたん災害に強い地域づくりフォーラム」の開催	1-①	○地域が一体となって危機に強い地域づくりを進めるためのフォーラムを開催。災害ボランティアや自主防災活動等の体験を踏まえた報告等が行われ、約280名が参加（4月）
「高齢者あんしんコーディネート事業」の推進	1-①	○災害発生時に特に配慮を必要とする要援護高齢者の安否確認を迅速に行うとともに、避難が必要となった時に適切に介護が受けられるよう、市町、介護保険事業者と協定締結に向けた取組を推進
「あんしん見守りたい（隊）」活動の推進	1-①	○教育機関や警察と連携して、子どもの安全を守る啓発活動や講演会を実施（3月）するなど、地域ぐるみで子供たちの安心・安全を守る取組を支援
災害ボランティアリーダーの養成とネットワークづくりの推進	1-①	○「なんたん福祉救援ボランティアネットワーク会議」を開催（2月）するなど、広域的なネットワークづくりやリーダー養成の取組を推進
【目標2】行政を中心とした対応力強化		
危機対応力を高めるための訓練・講習会等の実施	2-①	○関係機関の連携強化と危機対応力の向上のため、管内市町、消防、警察、自衛隊等関係機関と連携した地域防災会議、図上訓練、AED（自動体外式除細動器）を使った救急講習会、SARS実地訓練等、様々な訓練や演習等を実施 ○新たな危機に備えるため、新型インフルエンザ対策連絡会議を開催（3月）したほか、管内各所で、感染症、食中毒等、健康危機に関する講習会、研修会を実施

<2006（平成18）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】安心安全な地域づくり		
「高齢者あんしんコーディネート事業」の推進	1-①	○災害時に介護事業者が要援護高齢者の安否を確認し、すばやい救援を行うとともに、避難が必要となった時に介護施設で適切な介護を受けられるようにするための協定を、管内2市1町、介護保険事業者（29法人 56事業所）との間で締結（11月、3月）
セーフコミュニティの推進	1-①	○本庁、亀岡市と連携し、同市をモデル地域として、日本初のセーフコミュニティ認証取得に向けた取組を推進。18年度は、府アクションプランの策定、外傷データ等の収集・記録のためのシステム構築を関係機関と連携して実施
【目標2】行政を中心とした対応力強化		
危機対応力を高めるための訓練・講習会等の実施	2-①	○関係機関の連携強化と危機対応力向上のため、市町、消防、警察、気象台、日吉ダム等様々な機関の参加のもと、次の会議等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・南丹広域災害警戒支部要員に対する説明会、訓練（7月） ・防災気象情報システムの活用等に係る防災会議（7月） ・「京都府南丹地域防災対策連絡会」を設置（9月） ・防災訓練（9月） ・防災啓発（10月、11月） ・高病原性鳥インフルエンザ南丹地域連絡調整会議（2月） ・災害対応ベースマップ活用訓練（1月） ○健康危機管理能力等強化のため、次の研修等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ対策研修（5月、11月） ・南丹保健所管内新型インフルエンザ連絡会議（1月） ・新型インフルエンザ実地訓練（2月） ・食中毒感染症予防研修（6月） ・結核研修（9月） ・幼児安全法講習会（11月） ・AEDの使用に関する救急講習会（12月）

<2007（平成19）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】安心安全な地域づくり		
「南丹セーフティキッズ」認定事業の実施	1-①	○亀岡市保津町地域を対象に、防災や救急救命に関する講習訓練（8月、100名）に参加した小学生40名を「南丹セーフティキッズ」に認定。これらの子供たちを中心とした住民の自主的活動をワークショップ開催等で支援し、住民同士の絆の強化を通じて災害への対応力を強化
セーフコミュニティの推進	1-①	○本庁、亀岡市と連携し、同市をモデル地域として、セーフコミュニティの取組を推進。19年度は外傷発生動向調査を開始し、モデル地区でのワークショップやWHOの現地調査対応、学会設立、国際会議開催等に取り組み、亀岡市が日本初の認証を取得（3月）
救急講習会等の開催	1-①	○地域や関係機関と協働して、救急や事故防止に関する知識を普及し、安心安全への意識を高める取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒感染症予防研修（6月） ・感染症予防リーダー養成研修会（6月、10月） ・幼児安全法講習会（3月） ・地域の安全を守る救急講習会（3月）
新型インフルエンザの発生・流行に備える体制づくり	1-②	○新型インフルエンザの発生・流行に備え、課題や対策、役割、連携について管内関係者（機関）との協議を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ南丹地域対策推進会議（11月） ・南丹保健所管内新型インフルエンザ連絡会議（1月）

【目標 2】 行政を中心とした対応力強化

<p>危機対応力を高めるための訓練・講習会等の実施</p>	<p>2-①</p>	<p>○関係機関の連携強化と危機対応力向上のため、市町、消防、警察、気象台、日吉ダム等様々な機関の参加のもと、次の会議等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出水期前に水害対応訓練を実施（6月） ・ 南丹広域災害警戒支部要員に対する説明会、訓練（7月） ・ 「京都府南丹地域防災対策連絡会」（7月、11月、12月、2月） ・ 南丹地域防災・危機管理研修（12月） <p>○健康危機管理能力等強化のため、次の研修等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザ研修会（10月） ・ 新型インフルエンザ発生想定訓練（机上2月・実地3月） ・ AEDの使用に関する救急講習会（2月、4回）
-------------------------------	------------	---

「きらきら光る！よいとこ自慢の観光振興」プラン

1 重点事業

(1) 南丹広域振興局が企画・検討・実施している事業

事業	体系図区分	概要	実施主体	実施年度
◆きらりと光る南丹広域観光推進体制づくり事業 ＜既存施策を補完する事業＞				
広域観光の推進母体づくり事業	1-①	○広域観光振興事業を協働して企画・実施するため「南丹広域観光ネットワーク研究会」を開催	京都府 ※市町、観光関連団体と連携	H18～
	1-①	○JR嵯峨野線沿線等における観光資源を活用し、地域の観光振興と観光客誘客の推進を図るため「JR嵯峨野線沿線観光キャンペーン推進協議会」を設置、開催	広域推進組織	H19～
地域の観光担い手づくり事業	1-②	○「南丹コラボ塾」の開催等を通じて、観光の担い手を育成	京都府	H17～
広域観光情報発信事業	1-③	○局ホームページ等により、観光旬情報を発信	京都府	H17～
	1-③	○JR西日本と連携した情報発信	広域推進組織	H19～
南丹ファンクラブの設置・運営事業	1-④	○南丹を愛する内外の人たちを組織し、その力を観光振興に役立てる仕組みづくりを検討	広域推進組織	H20以降
◆南丹地域資源発掘・創造事業（南丹観光モデル事業） ＜他に先駆けたモデル事業＞				
観光新商品（コラボ商品）開発事業	2	○観光による地域経済への波及効果を高めるため、「南丹コラボ塾」の開催等を通じて、異業種交流による観光新商品の開発を支援	京都府	H17～
南丹魅力空間づくり事業	2	○「南丹コラボフェスタ」を開催し、南丹コラボ新商品の販売キャンペーンや地域イベント等のPRを実施	京都府	H17～
魅力空間なんたんツアーリズム推進事業	2	○魅力空間なんたんツアーフェスタ（仮称）を開催 ・市町、観光協会、観光関連事業者とのコラボによる広域観光ツアー商品の企画・造成及びツアー商品販売キャンペーンの実施	京都府 事業者等と連携	H20～

注) 事業概要や実施主体は検討段階のものを含み、今後具体化する中で変更の可能性があります。

(2) 主要な京都府事業

事業	概要
◆観光未来づくり事業費	○豊かな観光資源を生かしたテーマ性のある新しい観光ルートの開発及び国内向けの観光プロモーション活動等による国内観光誘客の促進
◆京都観光未来塾推進事業費	○京都観光の質を高め、府域への観光誘客の促進を図るため、観光産業や地域観光の担い手となる人材の育成による観光力の強化
◆歴史的建造物等保存伝承事業費	○社寺等が保有する文化資料の保全事業等に対する助成
◆中心市街地商店街活性化総合支援事業費	○まちづくりと一体となった中心市街地商店街の活性化に向けた戦略的・モデル的事業に対する助成
◆元気のある商店街づくり支援事業費	○地域コミュニティの中心であり、まちの顔である商店街・小売商業を活性化するため、商店街が実施する施設整備や賑わいづくり事業を支援
◆がんばる商業者支援事業費	○商店街や中心市街地等における継続した商業活性化を推進するため、今後の地域商業活性化の担い手となる新規開業者、第二創業者等を支援する。
◆伝統と文化のものづくり産業振興補助金	○伝統と文化のものづくり産業集積等促進地域への企業立地の促進を図るための立地企業等への施設整備、雇用確保等に対する助成
◆地域ビジネスサポート推進事業費	○広域的な経営相談に加え、コミュニティビジネスや地域ブランド支援等を行う地域ビジネスサポートセンターの設置に対する助成
◆京都新光悦村振興事業費	○京都新光悦村のブランド力向上による立地促進及び立地者間の交流促進を図るための研究会を設立

2 主な取組実績

<2005（平成17）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】きらりと光る南丹広域観光推進体制づくり		
「Men'sなんたん」の紹介	1-②	○激辛のハバネロをつくるひと、モーツアルトを聴かせて熟成した醤油をつくるひと等、こだわりの逸品づくりで活躍しているステキな男性「Men'sなんたん」をシリーズでホームページで紹介
女性向け観光旬情報等の発信	1-③	○「ナンタニーナ」（南丹地域の魅力をよく知る、おしゃれな女性）が、花、グルメ、カルチャー、地元野菜のスウィーツレシピなどの女性向け情報をホームページで発信
【目標2】地域資源の発掘と創造（南丹観光モデル事業）		
「南丹コラボ塾」の開催	2 1-②	○料亭、パン工房、ワイナリー、農場、農業法人、陶芸家、地域おこし会社等、さまざまな事業所の参加により、異業種交流による観光新商品づくりのための勉強会を開催
「おしゃれ観光・南丹交流フェア」の開催	2 1-②	○南丹コラボ塾参加事業所の交流と開発商品の販売実践のためのフェアを開催（11月）
「おしゃれ観光・バレンタイン南丹コラボフェスタ」の開催	2 1-②	○南丹地域の事業所、店、職人が集まって、女性に「うれしい」「楽しい」「新しい」観光商品をつくり、各店舗で販売（1～2月）

<2006（平成18）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】きらりと光る南丹広域観光推進体制づくり		
広域観光の推進母体づくり	1-①	○行政、関係団体、民間事業者等が参加し、情報交換や推進団体の組織化に向けた研究を行う「観光ビジネス研究会」を開催（2回）
女性向け観光旬情報等の発信	1-③	○民間事業所、商工会、市町等と連携し、局のホームページを通じて、女性向けの観光旬情報（花、グルメ、カルチャー等）を発信
【目標2】地域資源の発掘と創造（南丹観光モデル事業）		
「南丹コラボ塾」等の開催	2 1-②	○料亭、パン工房、道の駅、農産加工グループ、福祉の作業所などさまざまな事業所が参加して、異業種交流による観光新商品づくりを学ぶ「南丹コラボ塾」を開催（6回） ○コラボの輪を広げるため、「おしゃれ観光・南丹コラボシンポジウム」を開催（6月）
コラボ商品の販売キャンペーン	2 1-②	○「おしゃれ観光南丹コラボフェスタ秋のステージ」を9月の1ヶ月間開催。87事業所が参加し、38商品を販売 ○「バレンタイン南丹コラボフェスタ」を2月の1ヶ月間開催。75事業所が参加し、25商品を販売。 ○新商品づくりに向けて異業種事業者が交流するとともに、出店者がコラボ商品等をPR・販売する「おしゃれ観光南丹交流フェア」を開催（9月） ○他機関の事業等とのタイアップや、京都市内での販売キャンペーンの実施 ・農業総合研究所の施設公開とのタイアップ販売会（7月） ・京都市堀川商店街での販売会「お出かけ！おしゃれ観光南丹コラボフェア」（12月） ・亀岡商工会議所のイベントとタイアップした販売会「バレンタイン南丹コラボフェア」（2月）

<2007（平成19）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】きらりと光る南丹広域観光推進体制づくり		
広域観光の推進母体づくり	1-①	○広域観光振興事業を協働して企画・実施するため「南丹広域観光ネットワーク研究会」を開催（2回） ○JR西日本と連携した広域観光の推進を図るため「JR嵯峨野線沿線観光キャンペーン推進協議会」を設置、開催（1回）
広域観光情報発信	1-③	○民間事業所、商工会、市町等と連携し、局のホームページ等を通じて、観光旬情報を発信（2回） ○JR西日本と連携したハイキングパンフレットの作成（2種類） ○JR京都駅広域観光キャンペーンの実施（1回）
【目標2】地域資源の発掘と創造（南丹観光モデル事業）		
観光新商品（コラボ商品）開発事業	2 1-②	○コラボ事業説明会の開催（6月、33名参集） ○異業種交流による観光新商品開発のため、「南丹コラボ塾」を開催（5回） ○「南丹コラボフェスタ」報告会の開催

<p>コラボ商品の販売キャンペーン</p>	<p>2 1-②</p>	<p>○開発した商品（コラボ商品）の販売促進キャンペーンとして、「南丹コラボフェスタ～なんたん秋の彩り～」を開催（10～11月、69事業者参加）</p> <p>○「美山鹿肉キャンペーン」実施（11/18～12/2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加店ブラッシュアップ講習会の実施（9月、2回） ・美山鹿肉料理PR・試食会の開催（10月） <p>○地域イベントにおけるコラボフェスタコーナーの設置 亀岡祭（10月）及び丹波高原うまいもの市（11月）へのコラボ事業者の出店</p>
-----------------------	------------------	---

「耕せ！農の力、育め！森の元気」プラン

1 重点事業

(1) 南丹広域振興局が企画・検討・実施している事業

事業	体系区分	概要	実施主体	実施年度
◆南丹「儲ける京野菜づくりへ挑戦！」推進事業 ＜既存施策との相乗効果事業＞	1-①	○ブランド京野菜の市場出荷を担う生産者のすそ野づくりと直売活動を支える特色ある商品づくりを推進	京都府 ※農業協同組合等への補助	H17
◆南丹「食と農の架け橋」モデル推進事業 ＜最先端を走るパイロット事業＞	1-③	○地元特産物の利用増進や付加価値向上のため、農業公社等による、農産物トラストを用いた、地域の生産者、NPOなどの消費者との「協働型」加工活動を支援（※H18～は市町農業公社等主体で実施）	京都府 ※市町農業公社等への補助	H17～
◆耕種と畜産の絆プラン (南丹地域資源循環型畜産の確立) ＜最先端を走るパイロット事業＞	1-①	○畜産農家、耕種農家、生産者団体、行政、専門家等からなる協議会を設置し、資源循環型畜産の具体的な方向性を検討	京都府 ※市町、関係団体と連携	H19～
◆南丹ふるさと帰農支援事業 ＜最先端を走るパイロット事業＞	1-①	○産地を支える多様な担い手を確保するため、地元農家出身の団塊世代や地域内在住者を対象に、地縁や南丹地域の特性を活かした就農促進の取組を実施	京都府 ※南丹ふるさと帰農協議会・市町、関係団体と連携	H18～
◆ふるさと・棚田支援事業 ＜既存施策との相乗効果事業＞	1-②	○農村の豊かな自然や農地、農業用施設等の価値を見直し、ふるさと・棚田を保全するため、「ふるさと発見隊」「さとボラ（ふるさとボランティア活動）」等の取組を実施	京都府 ※市町、関係団体と連携	H16～
◆「南丹 食と農の集い」開催事業 ＜既存施策との相乗効果事業＞	1-③	○地産地消の拡大や鳥インフルエンザの発生を契機に高まった食の安心・安全志向に対応し、「南丹の食・農・環境」に関する豊かな資源を再発見し、ふれあい、学びあう場を提供	実行委員会 ※行政、関係団体等で構成	H17～
◆南丹おいしい食の応援隊モデル事業 ＜他に先駆けたモデル事業＞	1-③	○地産地消の拡大と地元農畜産物による健康的な食生活の実践活動を推進するため、生産者、飲食店、消費者等が互いに顔が見え、応援できる仕組みづくりを推進	京都府 ※市町、関係団体と連携	H19～
◆未来に引き継ぐ森のネットワーク事業				
「南丹森のネットワーク」づくり事業 ＜他に先駆けたモデル事業＞	2-③	○環境に配慮した森林経営のあり方についての検討や地元産材の利用拡大のための取組を、行政・森林組合・NPO・大学・住民等によるモデルフォレストのネットワークを活用しながら実施	京都府 ※市町、関係団体と連携	H18～
南丹森のパートナーシップ推進事業 ＜他に先駆けたモデル事業＞	2-③	○効率的な林業生産と環境に配慮した森林経営を担う森林管理技術者の養成、森林ボランティア活動の活性化策を検討	京都府 ※市町、関係団体と連携	H19～
◆森林資源活用推進事業				
南丹森のエコミュージアム構想・調査検討事業 ＜最先端を走るパイロット事業＞	2-②	【森林の文化機能の活用】 ○森林・林業や山村の生活に由来する自然・文化遺産等をエコミュージアムとして活用する地域活動を支援	京都府 ※市町と連携	H18～
シカ肉安定供給システムづくり事業 ＜最先端を走るパイロット事業＞	2-①	【森林の物質生産機能の活用】 ○森林資源の有効利用と野生鳥獣との共生を図るため、農林業被害を防止するために捕獲したシカの肉の有効利用を進める。	京都府 ※市町、関係団体と連携	H18～

		○モデル事業として南丹市美山町内で捕獲されたシカの安心・安全な食材としての供給システムを確立		
木質バイオマス資源調査・研究事業 <他に先駆けたモデル事業>	2-①	【森林の物質生産機能の活用】 ○地域の未利用木質資源の有効活用を図るため、木質バイオマス資源の調査や効率的な利活用についての調査・研究	京都府 ※市町、関係団体と連携	H20以降

注) 事業概要や実施主体は検討段階のものを含み、今後具体化する中で変更の可能性があります。

(2) 主要な京都府事業

事業	概要
◆京の米産地づくり事業	○地域の環境等にこだわった米生産に必要な機械導入に対する助成や特別栽培米等生産体制の整備、消費者ニーズを把握するための活動及び情報発信等への助成等
◆京の黒大豆・小豆等産地づくり事業	○生産に必要な機械導入や新たな産地づくりのための実証活動への助成等
◆ブランド京野菜等倍増戦略事業	○京野菜の魅力をもっと強化し、ブランドイメージを高めるブランド京野菜等倍増戦略の推進
◆京野菜こだわりプロジェクト推進事業	○ブランド京野菜の付加価値を高めるため、環境にやさしい農業の取組や京都こだわり栽培の総合的な推進
◆地域課題対応型ふるさと推進事業	○農林水産団体等の自主的な農林水産振興活動に対する助成
◆農と環境を守る地域協働活動支援事業	○地域ぐるみで農地を守る協働活動や化学肥料・化学農薬使用の低減の取組等に対する支援
◆中山間地域等直接支払事業	○中山間地域等における農業生産活動及び多面的機能を増進する活動に対する助成
◆農業後継者定着促進総合対策事業	○次代の農業を担う新規就農者の確保・育成の総合的な推進に係る助成等
◆担い手育成総合対策事業	○地域農業の中核となる認定農業者・農業法人・農作業受託組織等の担い手確保・育成の推進
◆京の稲作担い手緊急支援事業	○経営規模拡大や経理の一元化を支援し、継続的に地域農業を支える水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の対象となるような組織を育成
◆ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業	○新規就農希望者を農林水産業に受け入れる体制づくりと就農支援
◆ふるさと共援活動支援事業	○集落と大学、NPO等により構成する共援組織が行う過疎化・高齢化の進んだ農村集落の再生活動の支援
◆農業法人出資育成事業	○継続性で発展性のある農業経営の確保と担い手育成機能を発揮する農業法人化を促進するため、出資方式による支援
◆担い手活用農地バンクシステム整備事業	○新規就農者、定年帰農者、農業法人等、農地活用を希望する幅広い層に対して、利用可能な農地を広域的に調整・あっせんするシステムの整備
◆農地保有合理化事業	○公益法人である農地保有合理化法人が中間保有機能を活かした農地の貸付等を行い、担い手への効果的な農地集積等を推進
◆農業・農村活性化経営体づくり事業	○農地や農産物、人材などの地域資源を組み合わせ農業経営する農業・農村活性化経営体を地域から創り出し、経営力を発揮するしくみづくりを支援
◆「いただきます。地元産」プラン推進事業	○学校給食や病院・福祉施設等の給食における地元産米・野菜の利用促進
◆きょうと食品表示違反「0」推進事業	○食品業界を対象とした食品表示に関する研修の実施
◆環境保全型畜産確立推進事業	○畜産経営に起因する環境問題に対し、関係機関が総合調整を行い、濃密巡回指導により環境保全型農業の普及・推進を図る。

◆農林水産部関係公共事業	○農林水産業に係る公共事業
◆農林水産部関係単独公共事業	○農林水産業に係る単独公共事業
◆森林整備地域活動支援事業	○森林の多面的機能を発揮させるための森林整備の取組に対する助成
◆京都モデルフォレスト創造事業	○豊かな緑を守る条例に基づき府民参加による森づくりを推進
◆緑の公共事業	○風倒木被害の緊急再生、放置森林等の整備、人と野生鳥獣の共生を図るための荒廃里山の緊急整備、ウッドマイレージ認証制度の普及等
◆地球温暖化対策森林整備事業	○京都議定書による森林CO2吸収目標達成のために必要な間伐・除伐等の森林整備
◆山地治山事業	○保安林機能の維持・復旧のための治山施設の設置
◆保安林整備	○保安林機能の維持・増進のための植栽・保育
◆水源林整備	○保安林での水源涵養機能増進のための治山施設の設置
◆林業普及指導事業	○林業技術や森林の働きを林業技術者や府民に指導・普及する。

2 主な取組実績

<2005（平成17）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】南丹農業の特色を活かした活力と交流のある地域経営		
南丹「儲ける京野菜づくりへ挑戦！」推進事業の実施	1-①	○ブランド京野菜の市場出荷を担う生産者のすそ野づくりと直売活動を支える特色ある商品づくりを推進するため、南丹地域就農講座卒業生等の本格就農を促進する実習展示ハウスや地場向け直売用生産ハウス、28アールの整備を支援
南丹「食と農の架け橋」モデル事業の実施	1-③	○「南丹こだわりマイフード会員」を消費者から募集し、131名の会員が黒大豆、小豆、そば、麦、みず菜など7つのコース（延べ30回）で、自ら育てたこだわり食材を使い、ふるさとの味づくり体験に参加
「南丹地域食の安心・安全プロジェクト」の推進	1-③	○『高めよう！「食」と「農」が結ぶ人の健康・地域の元気』をテーマに「南丹食と農の集い」を開催し、約500名が参加（11月） ○京野菜や京地どりの生産現場を訪ね、消費者の立場から食の安心・安全について現地調査と施策提案を担う「南丹おいしい食の調査隊」等の取組を推進
【目標2】豊かな森林・環境を未来に引き継ぐ地域経営		
「人と野生鳥獣の共生の森づくり」シンポジウム等の開催	2-②	○人と野生鳥獣との共生について府民のみなさんと一緒に考えるためのシンポジウム（8月）やワークショップ（1月）を開催
緑の少年団によるドングリの苗木づくりの実施	2-②	○ふるさとの山を守り育てる意識をもってもらうため、緑の少年団の子供たちがドングリを採取し、苗木に育て、近くの山に植栽し生長を見守る取組を実施

<2006（平成18）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】南丹農業の特色を活かした活力と交流のある地域経営		
南丹ふるさと帰農支援事業	1-①	○地元農家出身の団塊世代を対象に、ふるさと帰農を推進するため、帰農経験者や有識者による「南丹ふるさと帰農協議会」を設置し、地縁を活かした働きかけ手法を検討するとともに、帰農促進モデル地区や市町・集落段階における帰農促進対策を検討・実施
「南丹地域食の安心・安全プロジェクト」の推進	1-③	○南丹の食に関する様々な体験を行う「南丹おいしい食の親子調査隊」を実施（8月、隊員34名が参加） ○「南丹『食』と『農』が結ぶ健康月間」（10月19日～11月19日）を設定し、関係機関で、「南丹地域『食』と『農』の体験ウォーク」「直売所等を結ぶスタンプラリー」「南丹『食』の安心安全セミナー」等、14のキャンペーン事業を実施
【目標2】豊かな森林・環境を未来に引き継ぐ地域経営		
「南丹森のネットワーク」設立に向けた取組	2-③	○行政・森林組合・NPO・大学・住民のみなさん等様々な関係者が森林に係るテーマについて検討を進めるネットワーク組織「南丹森のネットワーク」設立に向けて、事務局体制を確立するとともに、「南丹森のエコミュージアム専門協議会」「森の恵み利活用専門協議会」等の専門協議会活動を推進
シカ肉の利活用の推進	2-①	○シカ肉の供給システム構築のため、機材（冷蔵庫、真空パック装置等）を整備 ○シカ肉利用についての講演会と試食会を開催（10月） ○「森の恵み利活用専門協議会」で、シカ肉利用に係るキャンペーン活動の内容を検討
南丹森のエコミュージアム構想の調査・検討	2-②	○エコミュージアム専門協議会準備会において、基本方針案を検討 ○専門協議会を2月に開催し、基本方針を定めた。 ○具体的な取組として、地元経験者が参画し、かつて地元で使っていた炭窯を再現

<2007（平成19）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】南丹農業の特色を活かした活力と交流のある地域経営		
耕種と畜産の絆プラン （南丹地域資源循環型畜産の確立） ＜最先端を走るパイロット事業＞	1-①	○資源循環型畜産の具体的な方向性を検討するため、畜産農家、耕種農家、生産者団体、行政、専門家等からなる「南丹地域資源循環型畜産の確立協議会」設置・開催（3回、委員11名）
南丹ふるさと帰農支援事業	1-①	○帰農促進の取組を実践（14集落） ○帰農促進を検討する集落確保の取組推進（34集落） ○帰農レターを6月から毎月配信（配信先62人） ○帰農アドバイザーを配置（5人） ○ふるさと帰農セミナーの開催（5回、延べ90名参加）
「南丹地域食の安心・安全プロジェクト」の推進	1-③	○消費者、生産者、飲食店等で構成する「南丹おいしい食の応援隊推進協議会」を設置（6月に設置、4回開催）し、地産地消府民運動の基本方針の骨格を策定するとともに、

		<p>応援隊員の募集を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南丹おいしい食の親子調査隊を実施（8月、20名参加） ○南丹「食」と「農」が結ぶ健康月間（10月19日～11月19日）を設定し、関係団体等と連携し、食と農の体験ウォークや農業・農村体験ツアー等21事業を展開（延べ29,000人参加） ○地域を再発見する「ふるさと発見隊」を実施（2回）し、都市住民が農村の保全のため柿もぎとり活動など「ふるさとボランティア活動」を実施（3回）
<p>【目標2】豊かな森林・環境を未来に引き継ぐ地域経営</p>		
「南丹森のネットワーク」設立に向けた取組	2-③	<ul style="list-style-type: none"> ○南丹森のネットワーク協議会設立を目指し、森林の維持管理や整備、獣害等のテーマごとの専門協議会活動を推進 ○関係者に対しモデルフォレストの理念を伝達し、森林利用保全の重点区域を指定（1箇所）
南丹森のパートナーシップの推進 ＜他に先駆けたモデル事業＞	2-③	<ul style="list-style-type: none"> ○森林資源利活用専門協議会を設立（2月） ○森林資源利活用のため管内市町村、林業・木材関係者、NPOを集めた学習会を毎月開催（6月～） ○亀岡市を除く管内市町村、森林組合、木材団体、林業研究グループ等を結集した南丹・京丹波林業振興展実行委員会を組織（実行委員会4回開催） ○地域力再生プロジェクト支援事業を活用して平成19年度南丹・京丹波林業振興展（10月1日～31日）を開催 ○集団化と高性能林業機械の活用による低コスト間伐システムの導入について管内の全森林組合（日吉町森林組合と京丹波森林組合をのぞく）に呼びかけ、園部町森林組合とともに南丹市園部町天引に間伐団地を設定し、団地内の森林の調査を実施
シカ肉の利活用の推進	2-①	<ul style="list-style-type: none"> ○シカ肉を安心、安全な食材として供給するため、食肉処理業登録業者、猟友会等と調整を実施 ○南丹市美山町域13料飲食業者参加によるシカ肉料理技術向上講習会を実施（9/10, 20） ○美山町域13料飲食業者参加による「美山鹿肉キャンペーン」を実施（11/18～12/2） ○「美山鹿肉キャンペーン」PR用チラシを作成・配布（40,000枚） ○上記キャンペーンに向けたマスコミ向けの試食会を開催（10月）
南丹森のエコミュージアム構想の調査・検討	2-②	<ul style="list-style-type: none"> ○日吉の炭焼き窯の復活活動の開始と亀岡筏流しの復活に向けての関係者協議を実施（エコミュージアム専門協議会、現地検討会を各1回開催）し、地域住民に環境に貢献する森林資源の利活用をアピール

「ずっと住みたい！ふるさと発展基盤づくり」プラン

1 重点事業

(1) 南丹広域振興局が企画・検討・実施している事業

事業	体系図 区分	概要	実施主体	実施年度
◆南丹地域景観創造事業				
南丹ふるさと資源 ネットワーク推進事業 ＜最先端を走るパイロット事業＞	2-① 2-③	特色ある南丹の景観を守り育て、様々な地域活動・住民活動の連携の促進により、住民主体の魅力ある景観づくりを進めるため策定した「南丹ふるさと資源ネットワークプラン」に基づき、「豊かな水緑に育まれた美しき原風景の保全と創造」を目指し、景観資産や日本風景街道の登録、景観の担い手育成など、住民主体の景観づくりにより、景観を通じた地域活性化、地域力向上による魅力ある地域づくりを推進	京都府 ※市町と連携	H17～
自然景観保全・活用 ＜他に先駆けたモデル事業＞	2-②	○南丹地域に広がる自然豊かな地域を新たに自然公園として指定し、地域の魅力アップを図るとともに、これを核とした地域振興策を展開	京都府 ※市町と連携	H20以降
公共事業の過去、現在、 未来 ＜他に先駆けたモデル事業＞	2-①	○ダムそのものを地域振興に役立つ資源として利用するため、周辺施設等の充実及び集客策を検討（大野ダム、日吉ダム、畑川ダム）	京都府 ※市町と連携	H20以降
◆人に優しいリフォーム ミーティング事業 ＜他に先駆けたモデル事業＞	3-①	○高齢者や身体障害のある人などが住みやすく、府民に優しいまちづくりを推進するため使う人の立場に立った施設改築について情報交換の活性化を図る	京都府 ※市町と連携	H18

注) 事業概要や実施主体は検討段階のものを含み、今後具体化する中で変更の可能性ががあります。

(2) 主要な京都府事業

1 多様な連携による地域づくり	
1-①道の連携による地域づくり	
縦貫軸へのアクセス道路の整備	国道372号＜湯ノ花工区＞（亀岡市） 国道477号＜西田大藪道路＞（南丹市） 亀岡園部線＜保津南工区＞（亀岡市） 郷ノ口余部線（宇津根新国道線）（亀岡市） 宮前千歳線（亀岡市千代川町）
府県間を結ぶ道路の整備	国道372号＜南八田道路＞（南丹市） 枚方亀岡線＜鍬山バイパス＞（亀岡市） 茨木亀岡線＜小泉バイパス＞（亀岡市）
地域間を結ぶ道路の整備	広野綾部線＜広野バイパス＞（京丹波町） 日吉京丹波線（京丹波町上野） 亀岡園部線（南丹市野条～室橋） 和泉宮脇線＜和泉バイパス＞ （南丹市）
地域の実情にあった生活道路の整備 （1.5車線の整備など）	京丹波三和線（京丹波町下山～三ノ宮） 京都日吉美山線（南丹市日吉町畑郷） 綾部美山線（南丹市美山町洞） 中地日吉線（南丹市日吉町中世木） 舞鶴和知線（京丹波町細谷）

	市島和知線（京丹波町大簾）など
災害に強く相互に代替機能を持つ道路網の整備（緊急輸送道路の整備）	国道162号、国道372号、亀岡園部線、枚方亀岡線、茨木亀岡線 （以上再掲）
地域づくりを支援する道路の整備（ほ場整備とあわせた道路の整備）	亀岡園部線（南丹市八木町野条～室橋） 郷ノ口室河原線（南丹市八木町日置～氷所） 篠山京丹波線（京丹波町口八田） 遠方瑞穂線（京丹波町鎌谷奥） 丹波広域基幹林道
1－②水の連携による地域づくり	
流域内水系一貫の土砂対策、洪水対策 広域的な河川の改修 地域の河川の改修 洪水の防止と水資源の確保 土砂災害の防止（砂防工事）	桂川（保津工区、八木工区、天神川工区） 桂川、雑水川、千々川、園部川、本梅川、畑川ダム 家の前川、小谷川、中谷川、光久谷川、向山谷川
防災ソフト対策の推進	河川防災カメラ設置など河川情報システムの拡充 洪水予報・水防警報による防災体制の強化 洪水ハザードマップの作成支援 土砂災害基礎調査の実施、警戒区域の指定
緑の公共事業（再掲）	風倒木被害の緊急再生、放置森林等の整備、人と野生鳥獣の共生を図るための荒廃里山の緊急整備、ウッドマイレージ認証制度の普及等 （管内一円）
治山と砂防の連携による効果的な山の荒廃対策 砂防工事 林道事業 復旧・予防治山事業 保安林整備事業 水源地域広域保全事業 水源流域地域保全事業 地域防災総合治山事業	家の前川、小谷川、中谷川、光久谷川、向山谷川（再掲） 峰線、奥山向山線（南丹市） 4箇所（亀岡市、南丹市、京丹波町） 14箇所（亀岡市、南丹市、京丹波町） 2箇所（南丹市） 2箇所（南丹市） 1箇所（京丹波町）
農業基盤整備と河川改修の連携 農地の利用集積と共に農業経営の育成を図る整備 元気な山里づくりの整備 ほ場整備とあわせた河川の改修	氷所日置、川東<ほ場整備> 神前<ほ場整備> 官山川、須知川、高屋川、半田川
2 南丹らしい地域景観の創造	
2－① 自然と景観を結ぶネットワークの創造	
地域資源をネットワーク化し、南丹らしい魅力ある地域づくりを進めるための計画づくり	南丹ふるさと資源ネットワーク推進事業
地域資源を結ぶ健康散策路、河川堤防、道路等の整備	丹波自然運動公園の整備
ダムを活用した地域振興の核づくり	大野ダム（過去）日吉ダム（現在）、畑川ダム（未来）の周辺整備事業
2－② 自然環境と自然景観の保全と活用	
自然公園の整備と近接する林道の利活用	
自然環境に配慮した施設整備	緑の公共事業（再掲）
生活排水処理を通じた水質保全による自然・生活環境の保全	桂川中流流域下水道
2－③ 地域景観の保全と創出	
住民主体の地域景観づくりを促進し、魅力ある地域づくりを進めるための計画づくり	南丹ふるさと資源ネットワーク推進事業
地域景観に配慮した公共施設の整備	亀岡停車場線・亀岡停車場追分線（亀岡駅前）
地域景観に配慮した地域づくり	南丹らしい魅力ある地域づくり（景観サポート）事業

3 人に優しい地域づくり	
3-① 人に優しい建物・道づくり	
公共施設のバリアフリー化など、総合的なユニバーサルデザインのまちづくり	人に優しいリフォームミーティング事業
既存住宅のバリアフリー化	人に優しいリフォームミーティング事業
安心・安全な道づくり	交差点改良、歩行者空間の確保、標識設置
中心市街地での安全で快適な生活道路づくり	道路の整備（1-①で記述）
3-② 医療・福祉施設へのアクセスの安定確保	
救急病院等への交通時間の短縮のための道路整備	道路の整備（1-①で記述）

2 主な取組実績

<2005（平成17）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標2】南丹らしい地域景観の創造		
南丹地域景観創造事業（南丹ふるさと資源ネットワーク推進事業）の推進	2-①	○「南丹ふるさと資源ネットワークプラン」策定に向けて、市町、観光協会、商工会、地元事業者等との意見交換会やアンケート調査等を実施
【目標1】多様な連携による地域づくり 【目標3】人に優しい地域づくり		
地域内や京阪神との交流を促進する道路の整備	1-① 1-②	・国道477号新世紀第二トンネル開通（11月、南丹市） ・郷ノ口余部線・宇津根新国道線（亀岡市） ・亀岡園部線（保津橋南伸）（亀岡市） ・国道477号（西田大藪道路）（南丹市） ・国道162号（棚バイパス）（南丹市） など
安心安全を高め、環境にも配慮した河川等整備	3-① 3-② 他	・桂川改修（亀岡市、南丹市） ・畑川ダム（京丹波町） ・下矢田急傾斜地崩壊対策事業（亀岡市） ・小谷川総合流域防災事業（京丹波町） など
その他の基盤整備		・災害関連緊急治山事業（南丹市） ・集落道長瀬線橋りょう新設工事（京丹波町） など

<2006（平成18）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標2】南丹らしい地域景観の創造		
南丹地域景観創造事業（南丹ふるさと資源ネットワーク推進事業）の推進	2-①	○「南丹・ふるさとの景観資源の保全と創造」をテーマにフォーラムを開催（9月）
【目標1】多様な連携による地域づくり 【目標3】人に優しい地域づくり		

地域内や京阪神との交流を促進する道路の整備	1-① 1-②	<ul style="list-style-type: none"> 郷ノ口余部線・宇津根新国道線（用地補償・築造工事）（亀岡市） 国道477号（西田大藪道路）（用地買収・橋梁上部工事）（南丹市） 和泉宮脇線下吉田バイパス（トンネル工事）（南丹市） 京丹波三和線（1.5車線の道路整備）（山間部の待避所設置工事着手）（京丹波町） など
安心安全を高め、環境にも配慮した河川等整備	3-① 3-② 他	<ul style="list-style-type: none"> 桂川改修（築堤工、護岸工、橋梁工、樋門工等）（亀岡市、南丹市） 畑川ダム（用地取得等）（京丹波町） 天神川トンネル放水路（本体工事）（南丹市） 下矢田急傾斜地崩壊対策事業（用地取得交渉）（亀岡市） など
その他の基盤整備		<ul style="list-style-type: none"> 京都新光悦村造成工事完成、販売開始（南丹市） 経営体育成基盤整備事業氷所日置ほ場整備完成（南丹市） など
人に優しいリフォームミーティング事業	3-①	○建築業者を対象に高齢者等に配慮した住環境改善の考え方をテーマにした研修を開催（11月）

<2007（平成19）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標2】南丹らしい地域景観の創造		
南丹地域景観創造事業（南丹ふるさと資源ネットワーク推進事業）の推進	2-① 2-③	<ul style="list-style-type: none"> ○南丹ふるさと資源ネットワーク会議（計5回）を開催 ○ふるさと南丹の景観を考える集い（12月）を開催 ○下大久保景観ワークショップ（計5回）を開催
【目標1】多様な連携による地域づくり 【目標3】人に優しい地域づくり		
地域内や京阪神との交流を促進する道路の整備	1-① 1-② 3-① 3-② 他	<ul style="list-style-type: none"> 郷ノ口余部線（宇津根新国道線）一部供用（亀岡市） 亀岡園部線（保津南工区）（用地買収）（亀岡市） 枚方亀岡線（鍬山工区）（築造、橋梁）（亀岡市） 和泉宮脇線下吉田バイパス（トンネル工事）完成供用（南丹市） 国道162号棚バイパス完成供用（南丹市） 国道477号（西田大藪道路）（橋梁上部工事）（南丹市） 京丹波三和線（1.5車線の道路整備）（山間部の待避所設置工事着手）（京丹波町） など
安心安全を高め、環境にも配慮した河川等整備		<ul style="list-style-type: none"> 桂川改修（築堤工、護岸工、橋梁工、樋門工等）（亀岡市、南丹市） 天神川トンネル放水路（本体工事着手）（南丹市） 畑川ダム（地権者同意完了）（京丹波町）

「みんなが主役！私たちの地域づくり」プラン

1 重点事業

(1) 南丹広域振興局等が企画・検討・実施している事業

事業	体系区分	概要	実施主体	実施年度
◆「ワイワイがやがやミーティング」等開催事業 ＜既存施策との相乗効果事業＞	1-① 1-②	○管内市町や関係団体等とも連携しながら、現地現場での課題解決を目指し、地域にあるさまざまな課題について個人や団体が話し合う、課題別ワークショップ（参加型学習会・研修会）を実施し、地域づくり運動の展開の契機とする。	京都府 ※市町、関係団体と連携	H17～
◆レッツなんたん健康アップ事業 ＜他に先駆けたモデル事業＞	2	○健康寿命の延伸のため、転倒予防体操の普及啓発リーダーや体操教室コーディネーターを育成し、地域のみなさんの自主的活動による健康づくり運動を展開する。	京都府 ※管内市町と連携	H18～
◆発達障害児相談支援なんたんモデル事業 ＜他に先駆けたモデル事業＞	2	○3歳児健診時点では気づきにくい発達障害を早期に把握して、就学までに適切な支援を行い、集団への適応障害や将来の二次障害を予防する。	京都府 ※管内市町と連携	H18～
◆なんたん障害者就労支援ネットワーク事業 ＜既存施策との相乗効果事業＞	2	○障害者自立支援法が施行される中、障害のある人の就労を支援するため、広域的な相談支援のネットワークづくりを行う。	京都府 ※関係機関・団体と連携	H19～
◆なんたんエコロジー学習支援事業	5	○小学校4～6年生の授業で、地球温暖化防止の講座を実施。 ○環境保全グループ、事業者、大学、行政機関等の各主体が連携し、温暖化防止に取り組む。	京都府 ※関係機関・団体と連携	H20～
◆「南丹地区小学校駅伝競走大会」開催事業 ＜既存施策との相乗効果事業＞	3	○管内市町教委や関係団体等と連携しながら、「南丹地区小学校駅伝競走大会（キッズふれあい駅伝）」を開催し、地域内交流の促進と子どもの健全育成を図る。	実行委員会 ※行政、関係団体等で構成	H17～
◆南丹美術工芸パートナープログラム事業	3	○管内の幼稚園、小学校、中学校、府立学校、大学等が連携し、美術工芸に関する子どもの力を伸ばすため、パートナースクールによる作品制作や南丹美術工芸教育展の開催に取り組む。	実行委員会 ※行政、関係団体等で構成	H19～

注) 事業概要や実施主体は検討段階のものを含み、今後具体化する中で変更の可能性があります。

(2) 主要な京都府事業

事業	概要
◆NPOパートナーシップセンター事業費	○NPOとの協働を推進するNPOパートナーシップセンターの管理運営に要する経費
◆国民文化祭に向けた京都文化力向上事業費	○国民文化祭の京都開催に向け、気運の醸成と京都の文化力の向上を図るための取組

◆京の次世代文化お手伝い体験事業費	○小・中学生を対象とした「生の文化活動」に触れることを通じた文化お手伝い体験の実施
◆内弟子プロジェクト文化体験事業費	○高校生を対象に、芸術家や伝統産業等の職人さんの創造・創作活動を一定期間体験できる機会の提供
◆青少年元気な活動支援事業	○青少年がいきいきと社会参加できる地域づくりを推進する活動に対する支援
◆青少年の社会的ひきこもり支援事業費	○青少年の「社会的ひきこもり」に対する支援の実施
◆青少年すこやか支援地域ネットワーク事業費	○非行等の問題を抱える青少年に対して、社会奉仕活動等の場を提供するなど、立ち直りを促すシステムを整備
◆「京都モデル」子育て応援中小企業推進事業費	○子どもを安心して産み育てられる労働環境の整備を図るため、中小企業における仕事と家庭の両立支援策を普及推進
◆きょうと子育て応援パスポート充実費	○協賛店舗数拡大のための商店街等と協働した事業PR及び子育て家庭等を支援するネット上の掲示板の作成等
◆児童虐待総合対策事業費	○児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応、再発防止にむけた総合的な対策を実施
◆地域子育て拠点整備事業費	○市町村が実施する地域子育て支援センターの設置・運営に対する助成
◆「のびのび育つ」こども応援事業費	○放課後児童クラブ及び児童館の運営等に対する助成
◆「高齢者見守り隊」事業費 (再掲)	○府社協、市町村社協、NPO、地域住民等による「地域を支える新たな仕組みづくり」の実践 ※全市町村（京都市除く）への活動へ拡大
◆「ゆめこうば」支援事業費	○障害者グループによる仕事の受注への支援 ○就労訓練や企業実習を目的とした就労訓練支援事業の実施
◆地域発未来っ子応援事業費	○府とNPO等との協働による子育て支援事業の実施
◆地域子育てステーション事業費	○商店街の空き店舗等を活用した子育て支援施設等の設置・運営を支援
◆ハート（まごころ）ショップ支援事業費	○共同作業所等で作製した手作り製品の販売コーナーを府庁等に設置
◆発達障害児早期発見・早期療育支援事業費	○発達障害児を早期発見し、療育・相談等の事後支援を実施
◆在宅医療連携体制整備推進事業費	○在宅医療の需要増大に対応するための体制整備
◆認知症地域支援体制構築モデル事業費	○医療・地域等が連携した認知症高齢者に対する支援体制の構築
◆健康長寿日本一推進事業費	○健康長寿日本一推進に向けた生活習慣病等対策、介護予防対策等
◆不法投棄防止対策事業費	○産業廃棄物不法投棄等防止対策の推進
◆京都環境行動促進事業費	○府民、企業、行政が協働した地球温暖化対策等の総合的な推進
◆絶滅のおそれのある野生生物保全対策推進事業費	○「京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例」に基づく、希少野生生物の指定及び必要な保全対策等の実施
◆匠の公共事業費（京の子ども伝統・文化体験事業費）	○府の記念品としての工芸品の活用や観光と連携し、職人さん等の実演実施を支援等
◆特別支援教育充実事業費	○LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）等の発達障害により学習や生活面で困難を示す児童生徒に対して、必要な教育的支援を行うため、府内の小・中学校に教員を配置
◆豊かな心を育てる教育推進事業費	○「京の子ども夢・未来」体験活動の実施 ○読書のキャンペーン、読書ボランティア養成講座の開催等
◆心のサポート推進事業費	○いじめ、不登校問題が深刻となる中、児童生徒の心のサポート対策を推進

◆京のわくわく探検事業費	○障害のある子どもも一緒になった体験活動事業の実施
◆府立高校サタデー広場活動事業費	○府立学校の特色を活かした土曜日等における子どもの体験活動や府民対象の生涯学習講座を実施
◆文化財対策費	○文化財の保存伝承等に要する経費

※ 主要な京都府事業のうち、計画全体に関連する事業

事業	概要
◆地域力再生プロジェクト推進費	○地域力の再生を通じて安心・安全で活力のある自立した社会づくりを進めるための総合的な取組に要する経費
◆地球温暖化対策推進事業費	○地球温暖化対策プラン関連事業の推進
◆市町村未来づくり交付金	○地方分権時代にふさわしい市町村の未来づくりに資する事業に対する交付金

2 主な取組実績

<2005（平成17）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】 地域のみなさんの手による取組の推進		
「ワイワイがやがやミーティング」開催事業の推進	1-① 1-②	○南丹地域で活躍する人たちのネットワークづくりを進め、協働で地域づくりを進めていくため、ワークショップ、研究会等を開催 ・災害に強い地域づくりフォーラム（4月） ・知事と和い和いミーティング「人・間中心」の京都づくり in 南丹（5月） ・計画推進プロジェクトチーム会議（6月～） ・大学等と地域の連携に係る研究会（7月～） ・南丹のこれからの地域福祉を考える座談会（11月）など
【目標2】 一人ひとりの健康づくりとみんなが支え合う地域福祉の実現		
一人ひとりの健康づくりの推進	2	○要介護状態の原因となる転倒を予防するための「なんたん元気づくり体操」（転倒予防体操）普及啓発リーダー育成をはじめ、さまざまな世代に対応した健康づくりの取組を推進 ・なんたん親子のすこやかな発達を考えるセミナー（9月） ・地域リハビリテーション推進フォーラム in なんたん（12月） ・健康長寿日本一推進フォーラム（3月）
みんなが支え合う地域福祉実現のための取組推進	2	○障害のある人もない人も、高齢者も子どもも、すべての人が、安心・安全に、いきいきと暮らせる地域社会づくりを推進 ・ノーマリゼーションセミナーの開催支援（10月） ・障害者総合相談支援センター「結丹」の設立・運営支援 ・地域福祉によるひとづくり・まちづくり推進大会の開催（12月）
【目標3】 地域の総合力を活かした子育て支援や、子ども自身の力を伸ばすことのできる地域環境の整備		
南丹地区小学校駅伝競走大会「キッズふれあい駅伝」の開催	3	○管内の全44小学校が一堂に集う駅伝競走大会を、各市町教育委員会・南丹教育局等との共催で新たに開催し、延べ384人の児童が選手として参加したほか、中高生もボランティアで大会運営に参加（12月）
子育て支援の推進	3	○子育てサークルやボランティア団体が交流を図るための「京のわくわく子育て応援フォーラム」の開催（12月） ○子育て家庭を支える「子育て地域パートナー」の養成など、地域全体で子育てを進めるための取組を実施

<2006（平成18）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】 地域のみなさんの手による取組の推進		
「ワイワイがやがやミーティング」開催事業の推進	1-① 1-②	○南丹地域で活躍する人たちのネットワークづくりを進め、協働で地域づくりを進めていくため、ワークショップ・研究会等を開催 ・なんたん水辺ネットワーク事業 ・大学等と地域の連携に係る研究会（7月～） ・計画推進プロジェクトチーム会議（7月～） ○南丹地域のさまざまな分野で活躍する人・団体を紹介する情報紙「つながる なんたん」を発行（9月～）
【目標2】 一人ひとりの健康づくりとみんなが支え合う地域福祉の実現		
一人ひとりの健康づくりと地域福祉の推進	2	○転倒予防体操「なんたん元気づくり体操」を地域で普及する住民リーダー養成講座を開催するとともに、体操の普及啓発を実施 ○発達障害児「5歳児モデル事業」を実施 ○発達障害児従事者研修会を開催（8月、2月） ○発達障害について理解を深めるセミナーを開催（7月） ○障害のある人の生活や就労を支援するため「管内相談機関会議」を月1回定例開催 ○「難病とともに生きる地域フォーラム」を開催（9月） ○難病従事者研修を開催（2月） ○「健康長寿日本フォーラム in なんたん」を開催（3月） ○地域リハビリテーション講演会を開催（3月）
【目標3】 地域の総合力を活かした子育て支援や、子ども自身の力を伸ばすことのできる地域環境の整備		
地域の総合力を活かした子育て支援	3	○管内の全44小学校が一堂に集う「第2回南丹地区小学校駅伝競走大会」を開催（11月）。延べ458人の児童が選手として参加 ○「子育て地域パートナー養成講座」を開催（9月） ○管内の子育てサークル・ボランティアのネットワーク組織を設立（9月） ○子育て支援のネットワークを広げるため、各市町ごとの交流会や「なんたんわくわく子育て応援フォーラム」（12月）を開催
【目標4】 伝統文化等の担い手・後継者育成の支援等、文化活動を盛んにする取組の推進		
地域文化の振興	4	○地域文化振興や平成23年国民文化祭京都府開催に向けた気運醸成のため、「南丹地域文化振興に係る意見交換会」を開催（8月～）
【目標5】 住民参加で環境を守り育てる取組の推進		
環境学習講座等の開催	5	○南丹環境学習講座を開催（1月～） ○南丹地域環境ミーティングを開催（2月）

<2007（平成19）年度>

取組実績	体系区分	概要
【目標1】 地域のみなさんの手による取組の推進		
◆「ワイワイがやがやミーティング」等開催事業	1-① 1-②	○南丹地域で活躍する人たちのネットワークづくりを進め、協働で地域づくりを進めていくため、ワークショップ・研究会等を開催 ・大学等と地域の連携に係る研究会の開催（5月～）及び学生のアンケートや学生交流会（5月～）を開催 ・計画推進プロジェクトチーム会議を開催（7月～） ○南丹地域のさまざまな分野で活躍する人・団体を紹介する情報紙「つながる なんたん」を発行（6月～）

【目標2】一人ひとりの健康づくりとみんなが支え合う地域福祉の実現		
一人ひとりの健康づくりと地域福祉の推進	2	<ul style="list-style-type: none"> ○転倒予防体操「なんたん元気づくり体操」を地域で普及する住民リーダー及び体操教室コーディネータを養成し、普及啓発を実施 ○保健医療関係者、事業主等を対象に「メタボリック予防講演会」を開催（9月） ○発達障害児「5歳児モデル事業」を実施 ○発達障害児従事者研修会を開催（8月） ○発達障害について理解を深めるセミナーを開催（7月） ○障害のある人の生活や就労を支援するため「南丹圏域障害児者総合支援ネットワーク会議」及び「南丹圏域障害者就労支援連絡会議」を開催 ○精神障害者の地域支援の取組を協議する「南丹圏域精神保健福祉専門部会」を開催（自殺予防研修会1回開催） ○アートクリエイティブ推進事業（アーティスト・大学との協力・連携による創作活動）を実施（11月～） ○障害者施設との協働による障害者手作りの“ほっとはあと”製品の販売 ○「難病とともに生きる地域フォーラム」を開催（3月）
【目標3】地域の総合力を活かした子育て支援や、子ども自身の力を伸ばすことのできる地域環境の整備		
地域の総合力を活かした子育て支援	3	<ul style="list-style-type: none"> ○「子育て地域パートナー養成講座」を開催（9～10月） ○管内の学校・地域・家庭教育関係団体の連携による親のニーズに応えた「南丹地区子育てフォーラム」を開催（10月） ○管内の全43小学校が一堂に集う「第3回南丹地区小学校駅伝競走大会」を開催（11月）。延べ435人の児童が選手として参加 ○「子育て支援ステップアップ講座」を実施（11月、12月） ○子育て支援のネットワークを広げるための「子育て支援者交流会」を実施（12月） ○管内の幼稚園、小学校、中学校、府立学校、大学等が連携し、パートナースクールによる作品制作のほか、「南丹美術工芸教育展」を開催（2月）
【目標4】伝統文化等の担い手・後継者育成の支援等、文化活動を盛んにする取組の推進		
地域文化の振興	4	<ul style="list-style-type: none"> ○地域文化振興や平成23年国民文化祭京都府開催に向けた気運醸成のため、地域文化の次世代継承をテーマとした「次世代へつなぐ文化フォーラム」（2月）及び「南丹地域文化振興に係る意見交換会」（5月～）を開催
【目標5】住民参加で環境を守り育てる取組の推進		
環境学習講座等の開催	5	<ul style="list-style-type: none"> ○南丹環境学習講座を開催（7～2月） ○住民が環境を学び、グループの活動が広がるよう講演会、交流会、研修会を開催（7月） ○地球温暖化防止の活動を行う団体、事業者の交流の場として情報交換会を実施（2月）